

いちよし証券IRトップセミナー

平成27年12月7日



プレシジョン・システム・サイエンス株式会社

本日のご説明内容

1.事業内容

2.業績動向

3.トピックス

1. 事業内容

———— PSS創立30周年にあたって ————

昭和60年(1985) 省力機器製造・メンテナンス会社としてスタート



生化学・免疫の臨床検査分野(現在、病院や臨床検査センターで行われている検査)のシステム請負い開発



新しい分野であるDNA・遺伝子解析システム分野へ事業進展

1. 事業内容



2つの小さな経験と
知識がすべての始まり

1. 事業内容

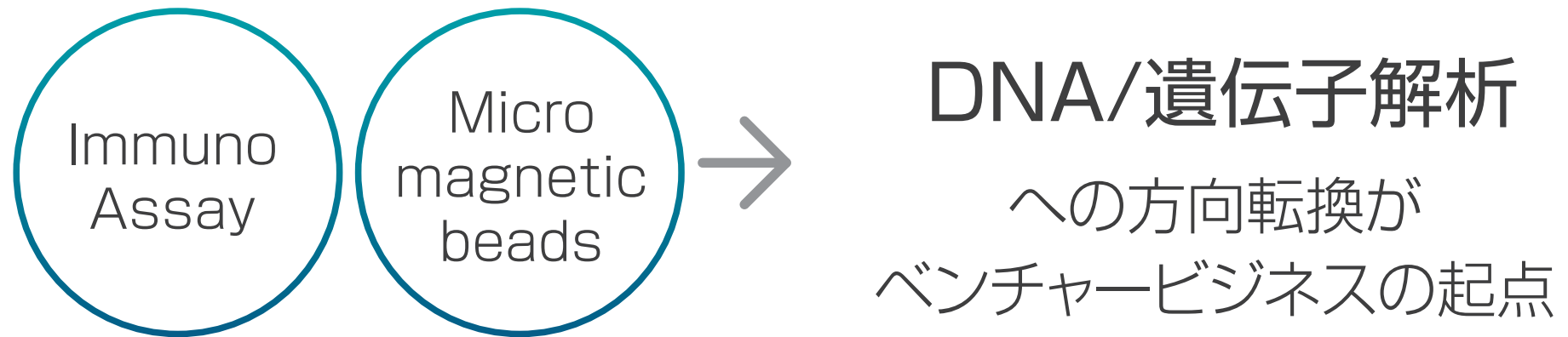


臨床検査システムが
最初のターゲット

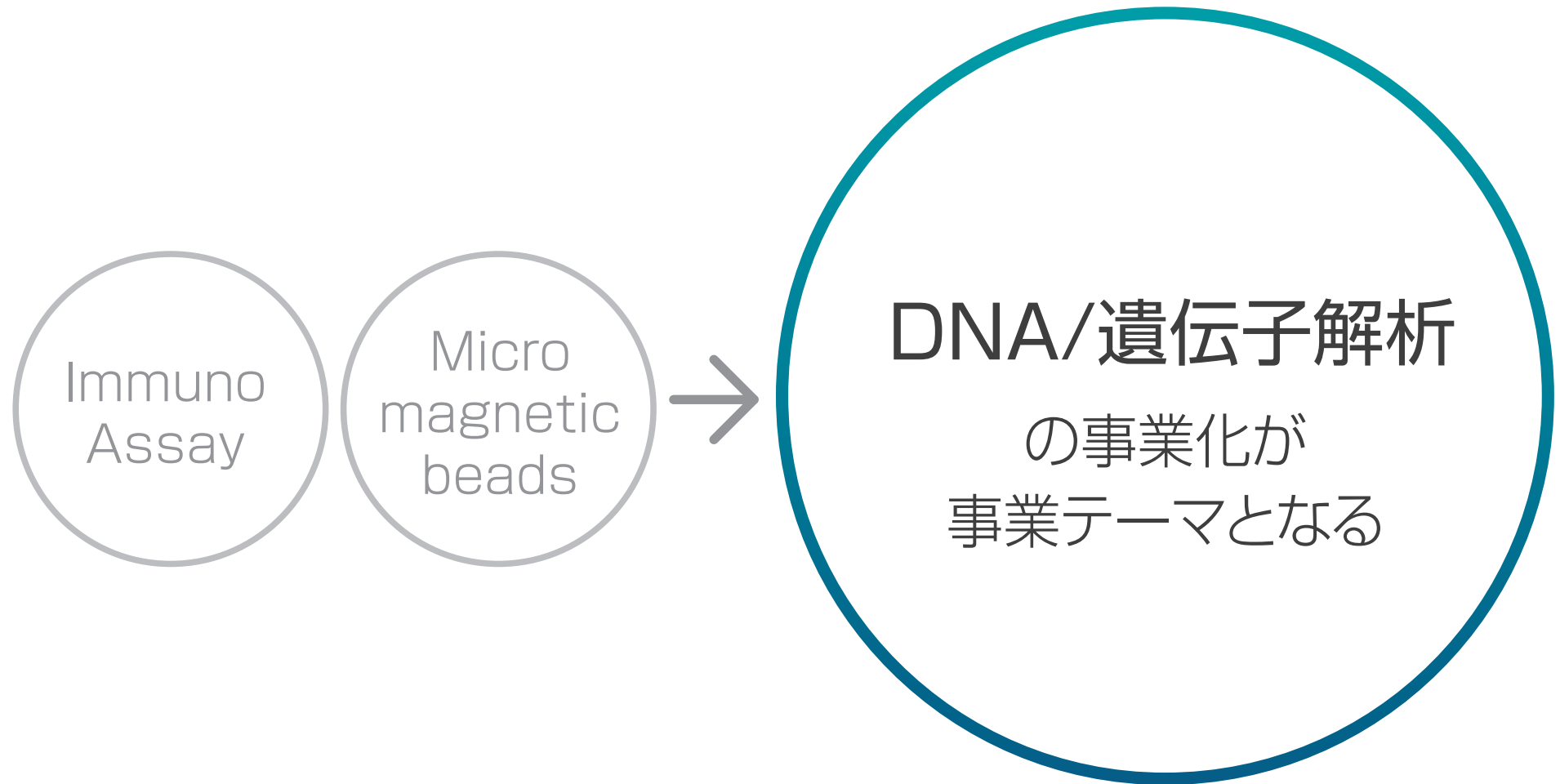


- 許認可が困難
- 多数の競合の存在

1. 事業内容



1. 事業内容



免疫の知識をDNA抽出に生かす事に成功

1. 事業内容

磁性体の反応制御技術

Magtration Technology

Roche、Qiagen、LT等へOEM供給
OEMから世界の研究機関へ約15,000台以上が出荷

Magnetic Filtration
▼
Magtration®



“Simple is the Best”
がPSSのポリシーとなった

DNA解析プロセスの最上流技術として発展



バイオ業界参入の切り口となった

1. PSSオリジナルの自動化技術を確立

→数多くの特許を取得

2. 世界の業界のメジャープレイヤー 10数社とOEM契約成立

3. 機器、試薬、プラスチック消耗品を 総合的に事業化

1. 事業内容

OEM契約と自社直接販売をバランス良く両立

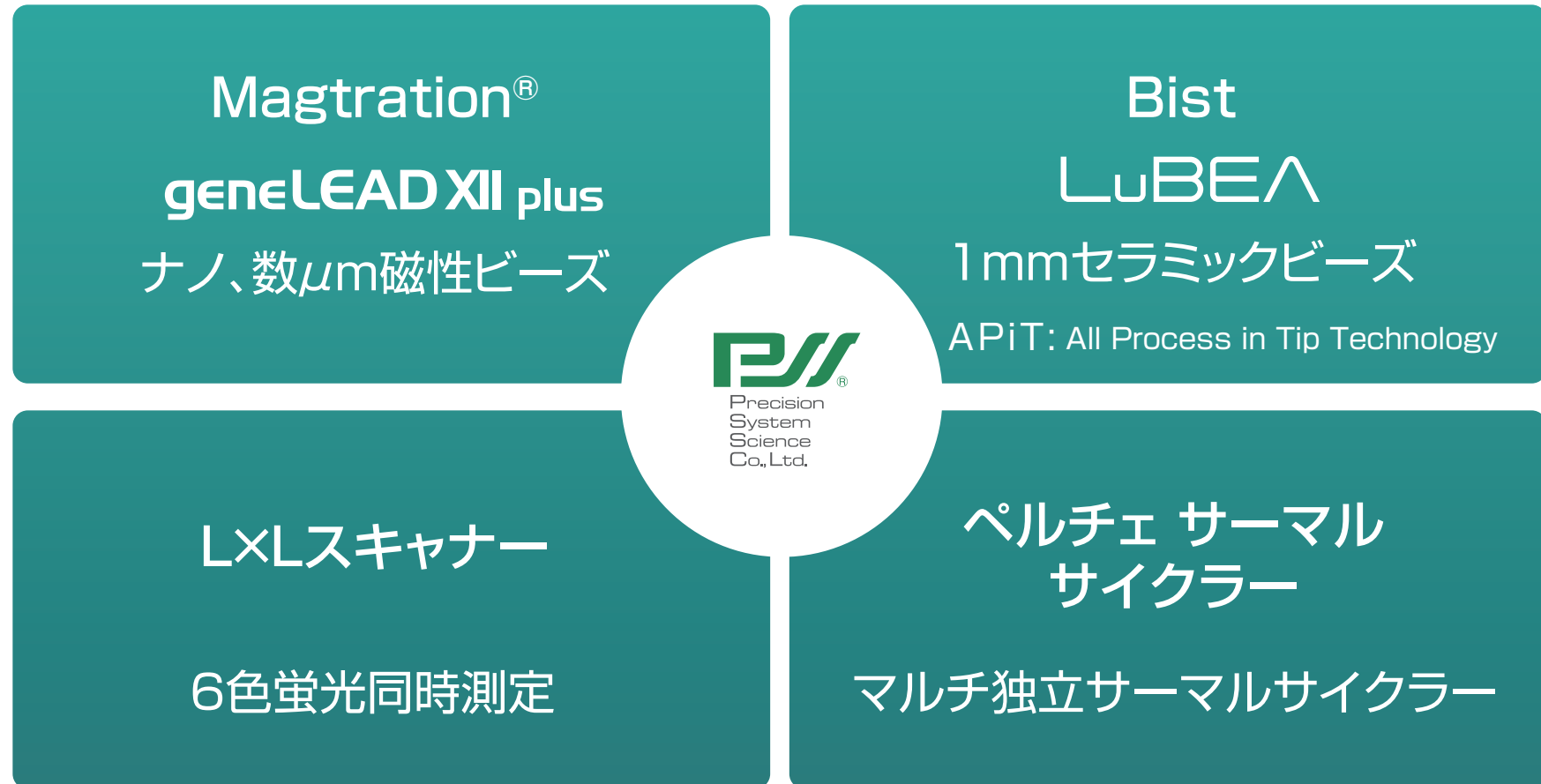
→日本国内、アジアはPSSブランドとして積極的に事業展開

臨床医療分野へ本格進出

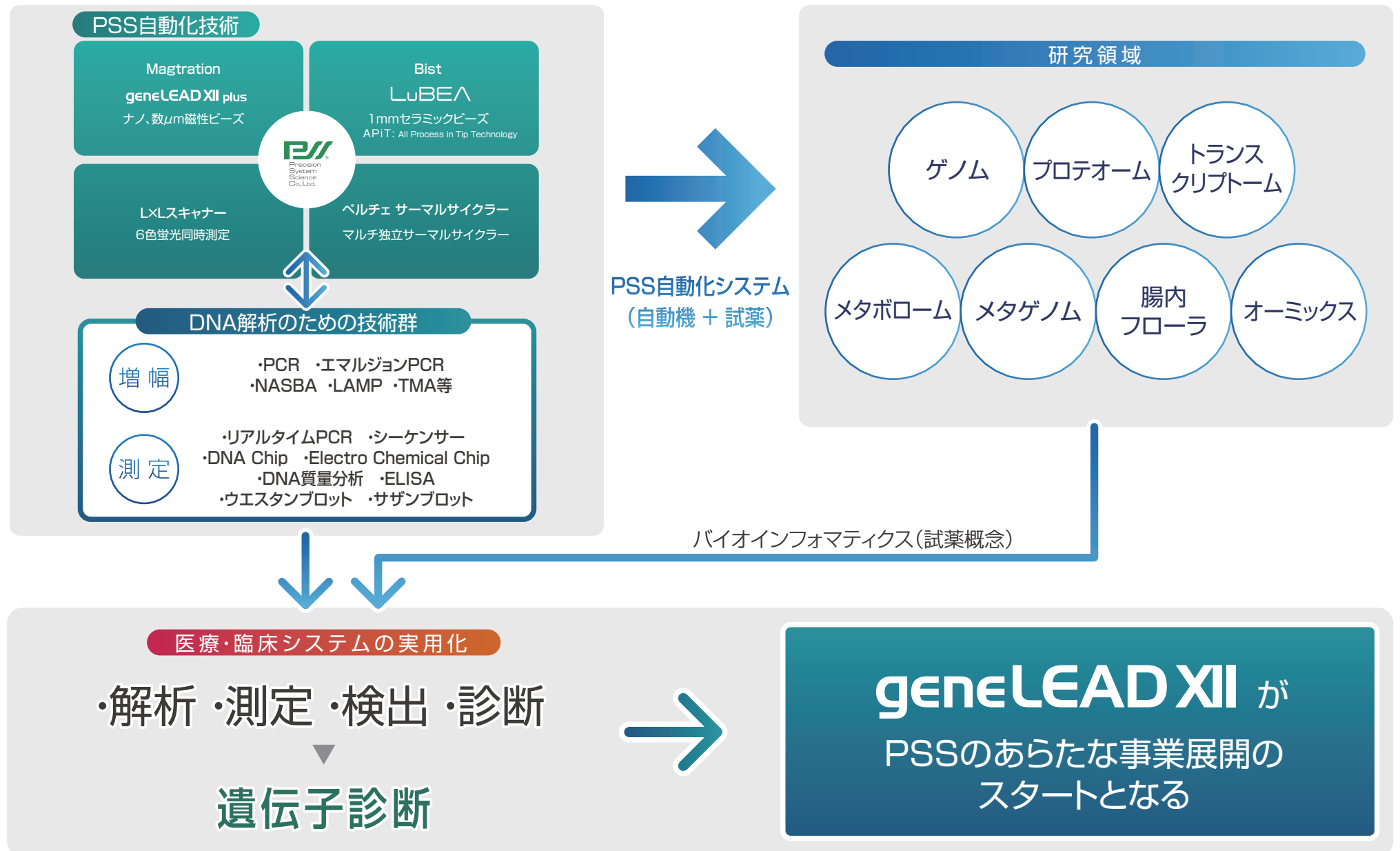
→独自の診断項目の確立

1. 事業内容

Magtrationと結びついたPSSの新たな開発技術

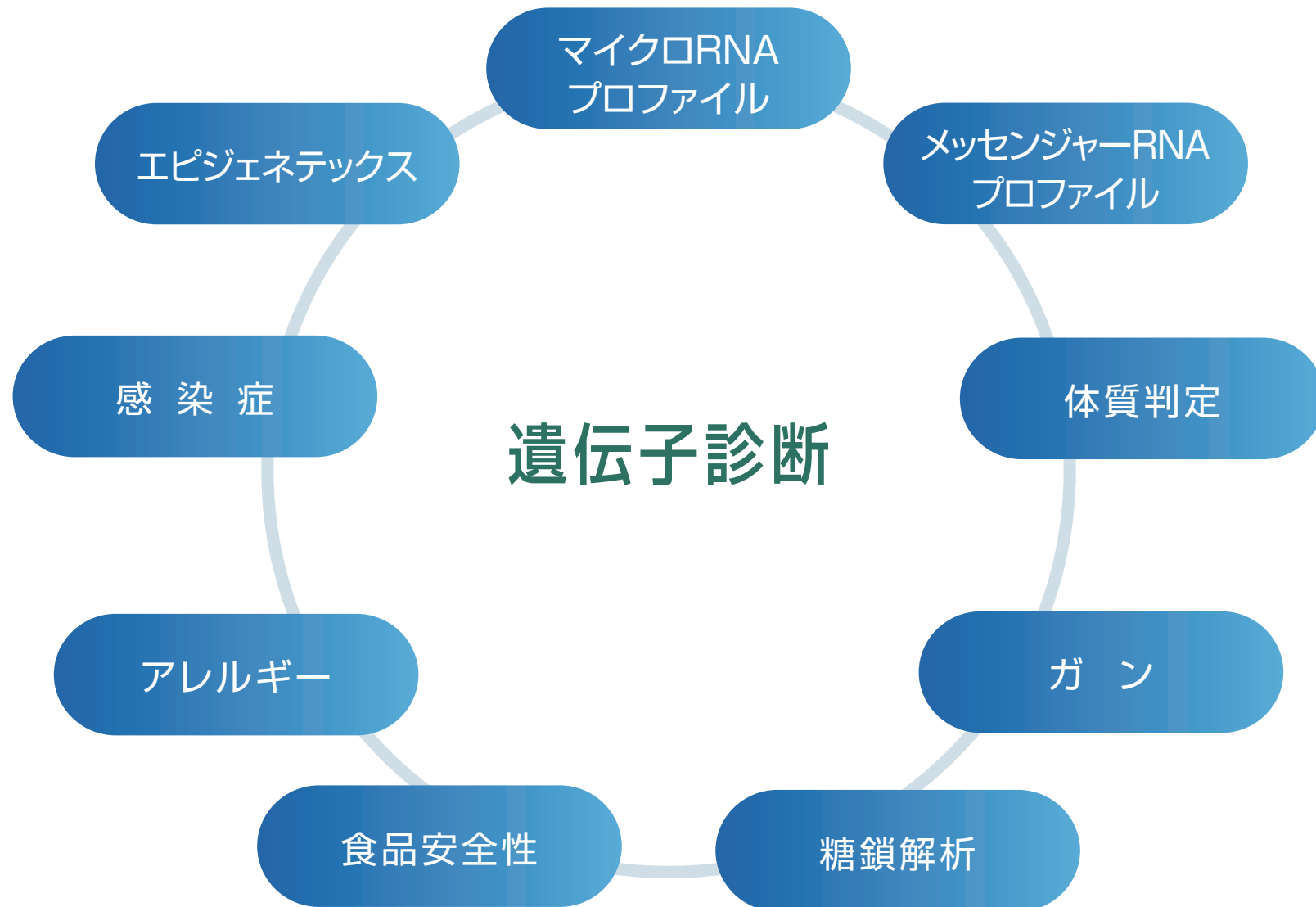


1. 事業内容



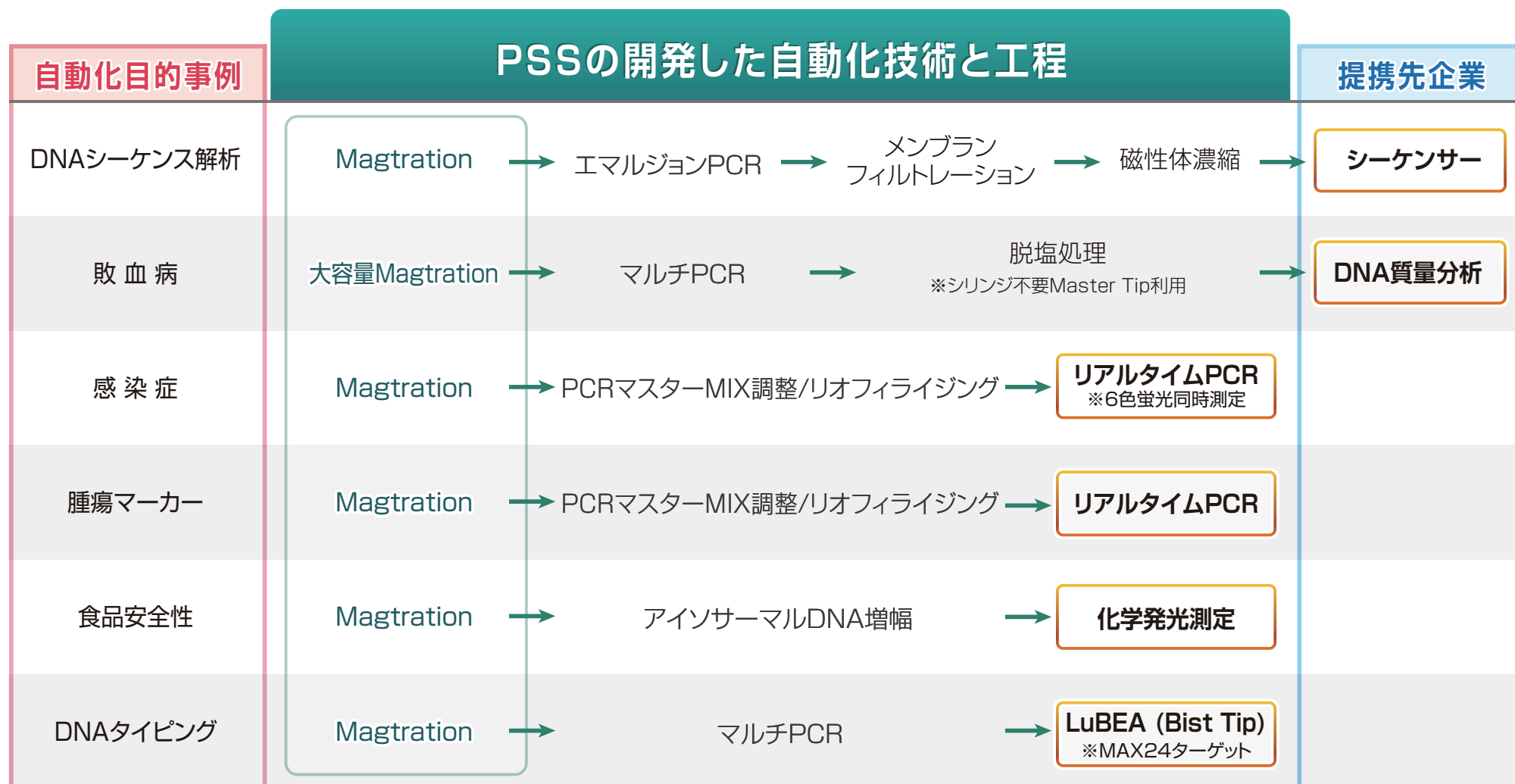
1. 事業内容

■ 研究開発からビジネスへ — 遺伝子情報の測定テーマの拡大 —



1. 事業内容

■ 研究開発からビジネスへ — 遺伝子情報の測定テーマの拡大 —



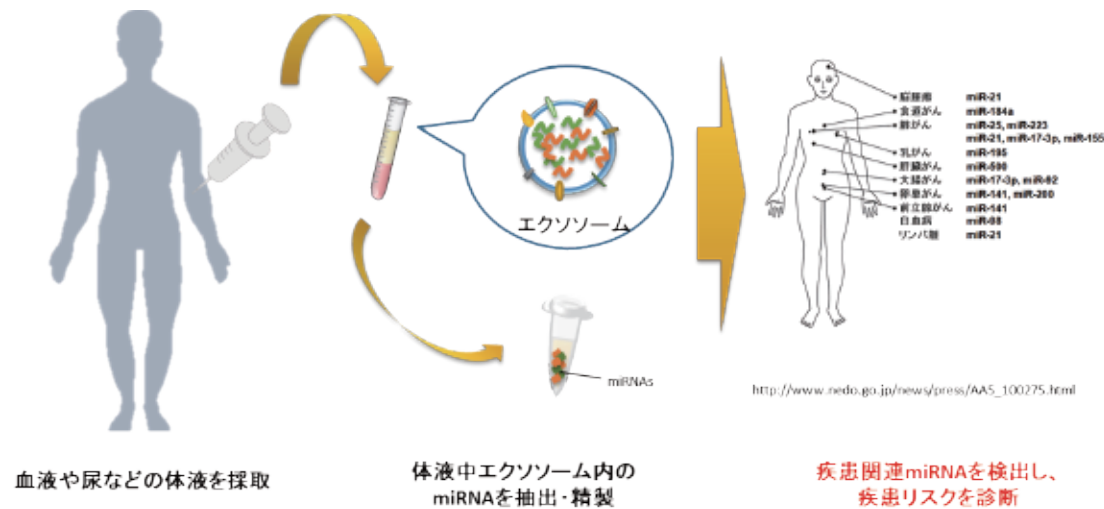
は測定技術

1. 事業内容

■ 研究開発からビジネスへ システム応用/研究事例

geneLEAD XII plusを用いたがん診断の可能性検討

miRNAをマーカーとした低侵襲かつ早期のがん診断



geneLEAD XII plus



geneLEAD XII plusで自動化可能な工程

- ▶ 体液からのエクソソームの分離
- ▶ 試料からの核酸抽出
- ▶ Real-time PCRのセットアップ
- ▶ Real-time PCR (6種)
- ▶ データの解析

1. 事業内容

■ 研究開発からビジネスへ システム応用/研究事例

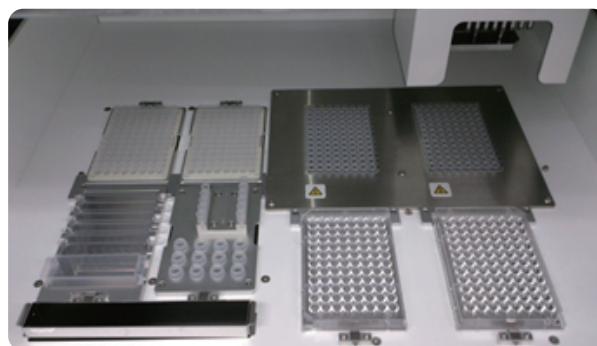
エピジェネティクス情報を用いた再生医療品質管理の可能性検討

iPS細胞等のゲノムDNAのメチル化状態の解析への応用

●●● SX-8G Compact

マイクロアレイ向けのサンプルの自動調整

iPSからのゲノムDNA抽出 → メチル化DNAの濃縮

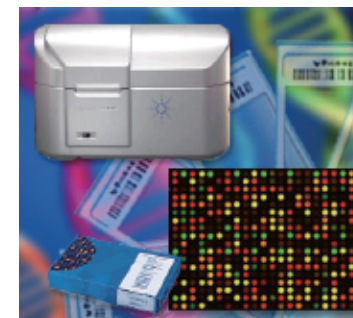


作業の自動化 ▶▶▶ 再現性 向上・省力化

抗体の使用 ▶▶▶ 特異性 向上



主解析



マイクロアレイ (アジレント社)

補助的解析

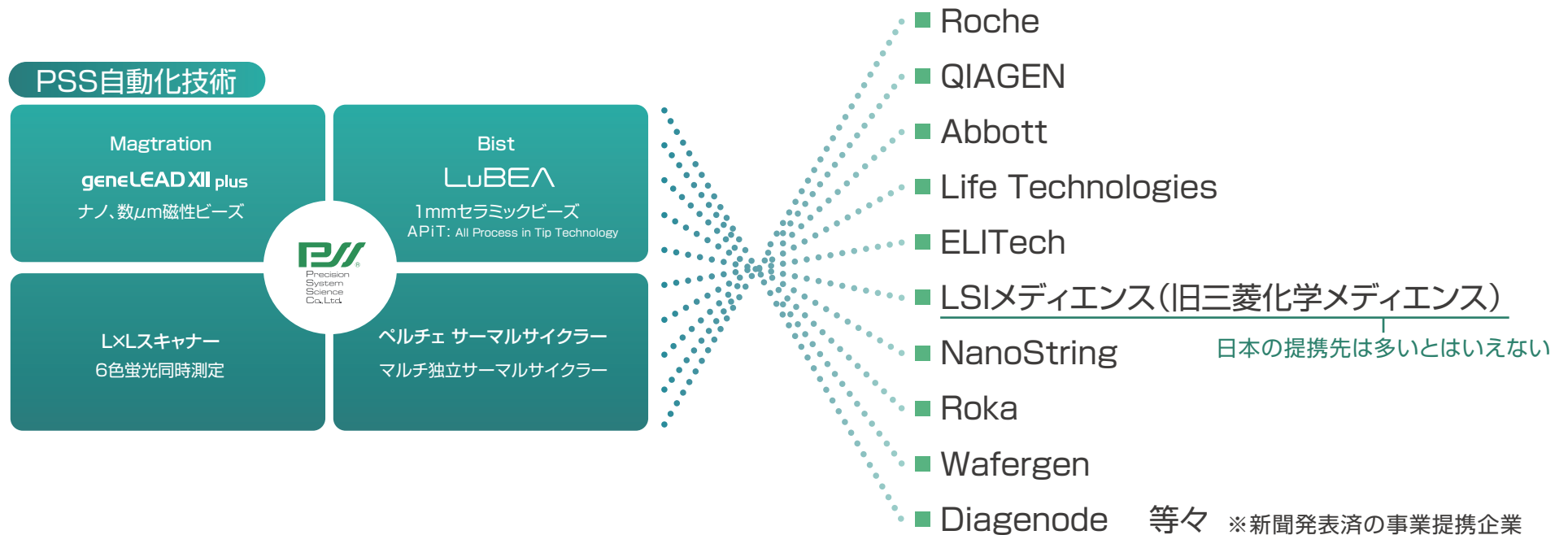


RT-PCR

再生医療に用いるiPS細胞の品質を管理する方法として応用を目指す

1. 事業内容

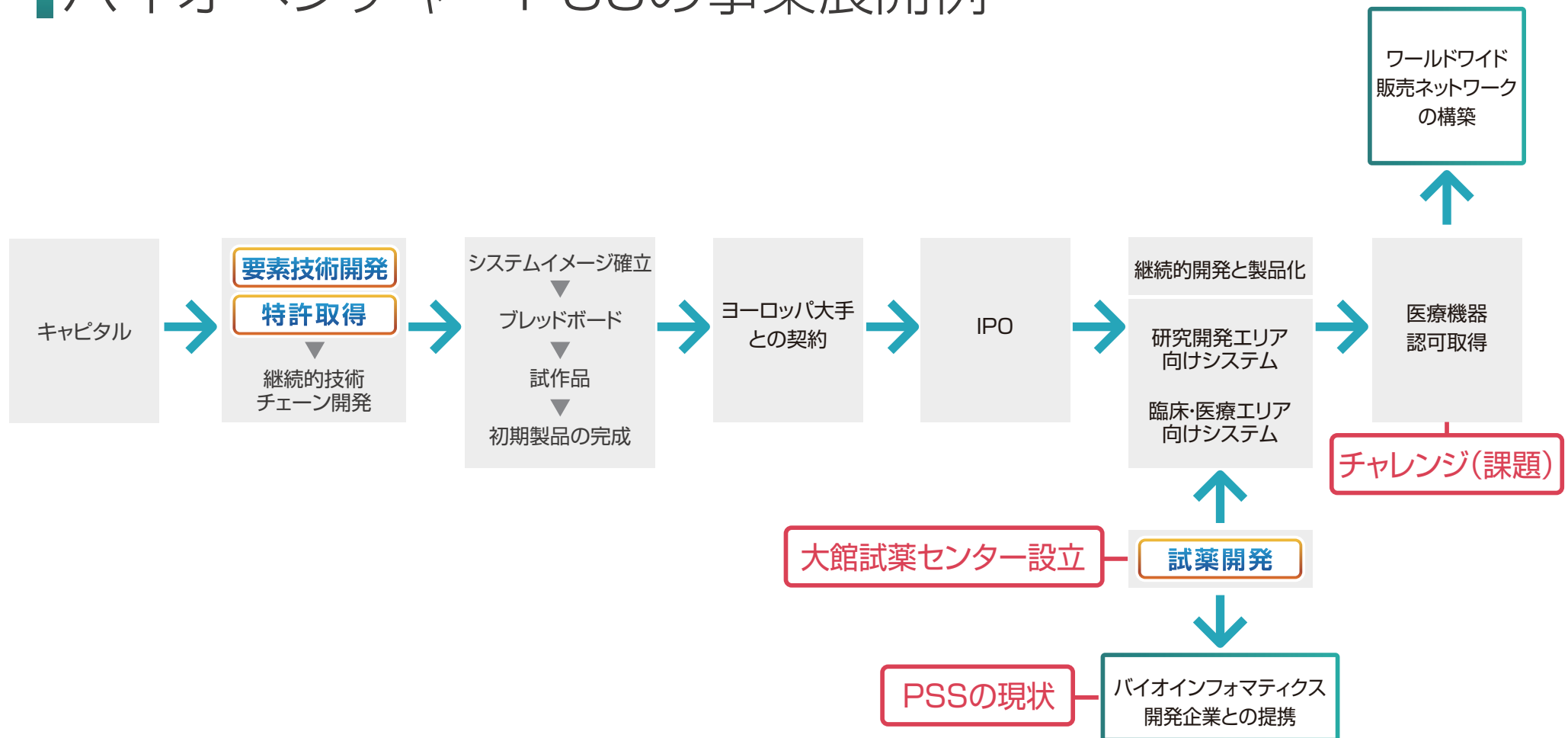
世界との連携 これがベンチャーの醍醐味



- 日本のマーケットは小さく遺伝子情報の実用レベル到達に時間が必要か？
- 世界に視野を持つことは事業進捗の必要条件
- PSSとしてオリジナリティの高い技術/特許取得は必須条件
- PSSは今、エキサイティング！

1. 事業内容

バイオベンチャーPSSの事業展開例



PSSのチャレンジ(経営課題)

1. ラボ(研究機関)との要素技術応用具体化
2. 臨床診断分野への進展
3. 試薬事業への本格参入
4. OEM契約/独自販売の両立



事業黒字化/ワールドワイド事業連携の拡大

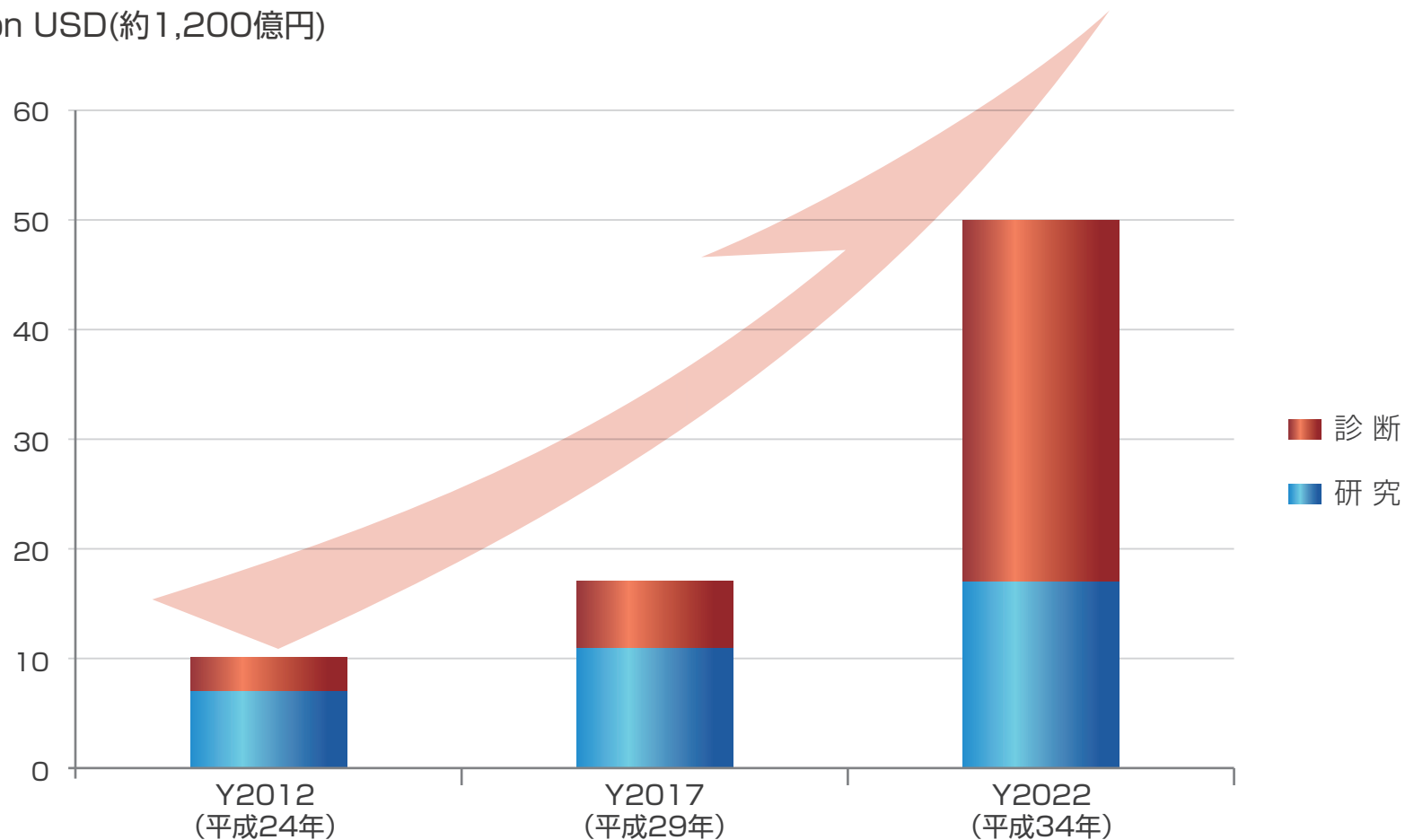
2. 業績動向

分子診断市場の動向 (市場トレンドの変化)

■ 遺伝子診断市場の利用目的が、臨床研究から診断用途向けに変化のトレンドを示しています。

しかしながら、臨床研究市場も着実な成長市場です。

単位:Billion USD(約1,200億円)

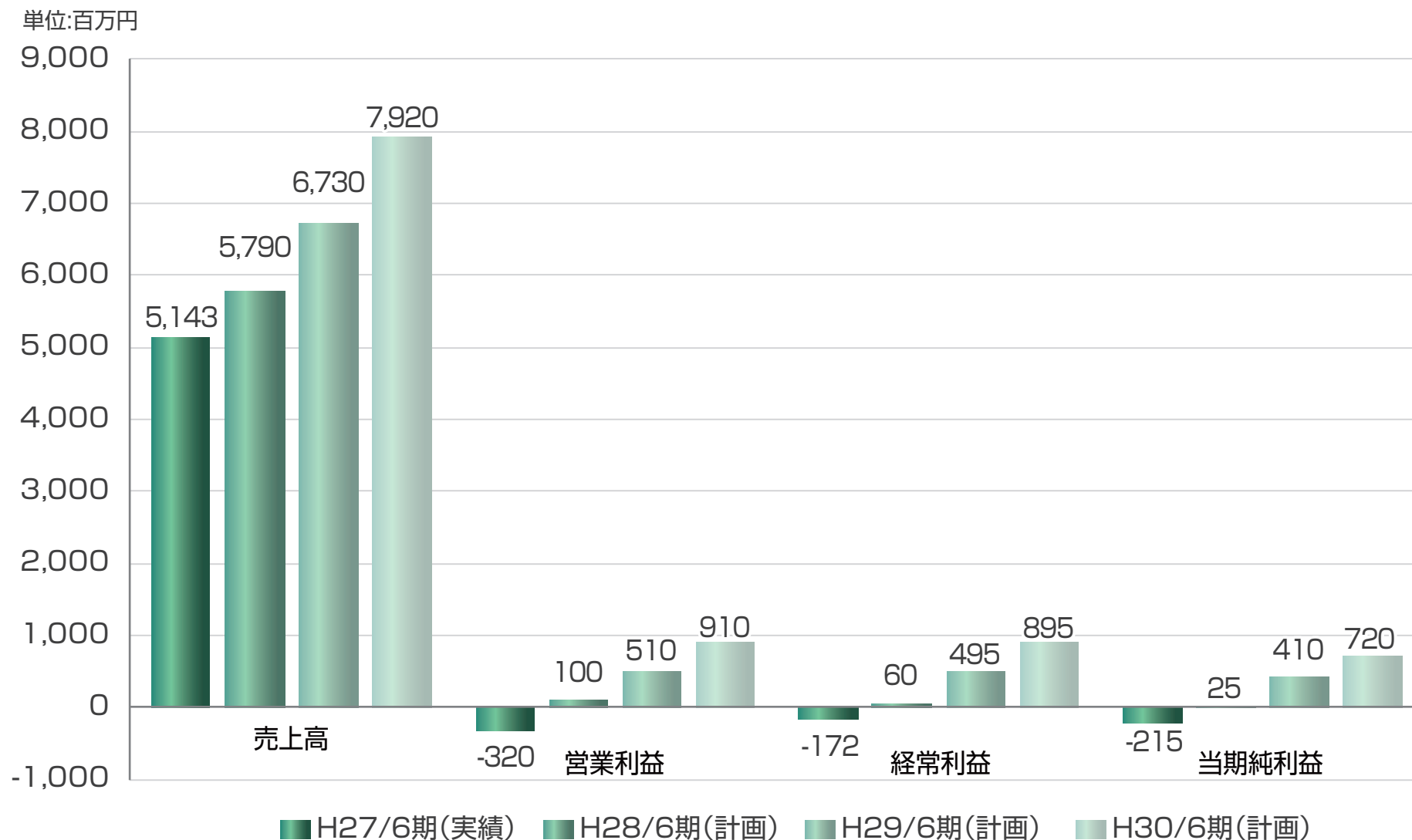


Jain PharmaBiotech, "Molecular Diagnostics" , July 2013

2. 業績動向

■ 中期事業計画

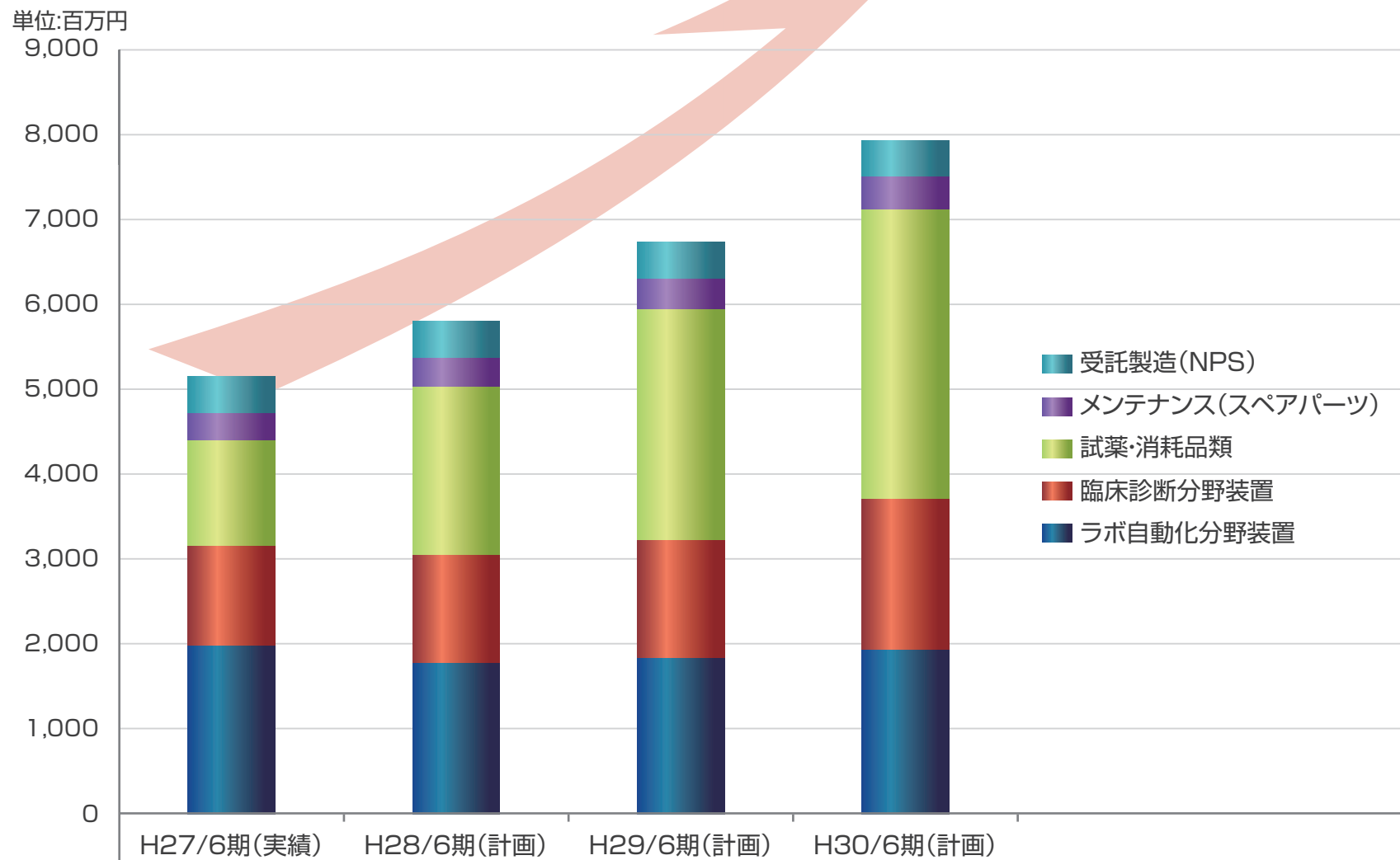
■ 売上は3年間で50%強の増加を計画し、H29/6期より本格的な事業収益拡大を目指します。



2. 業績動向

セグメント別売上計画

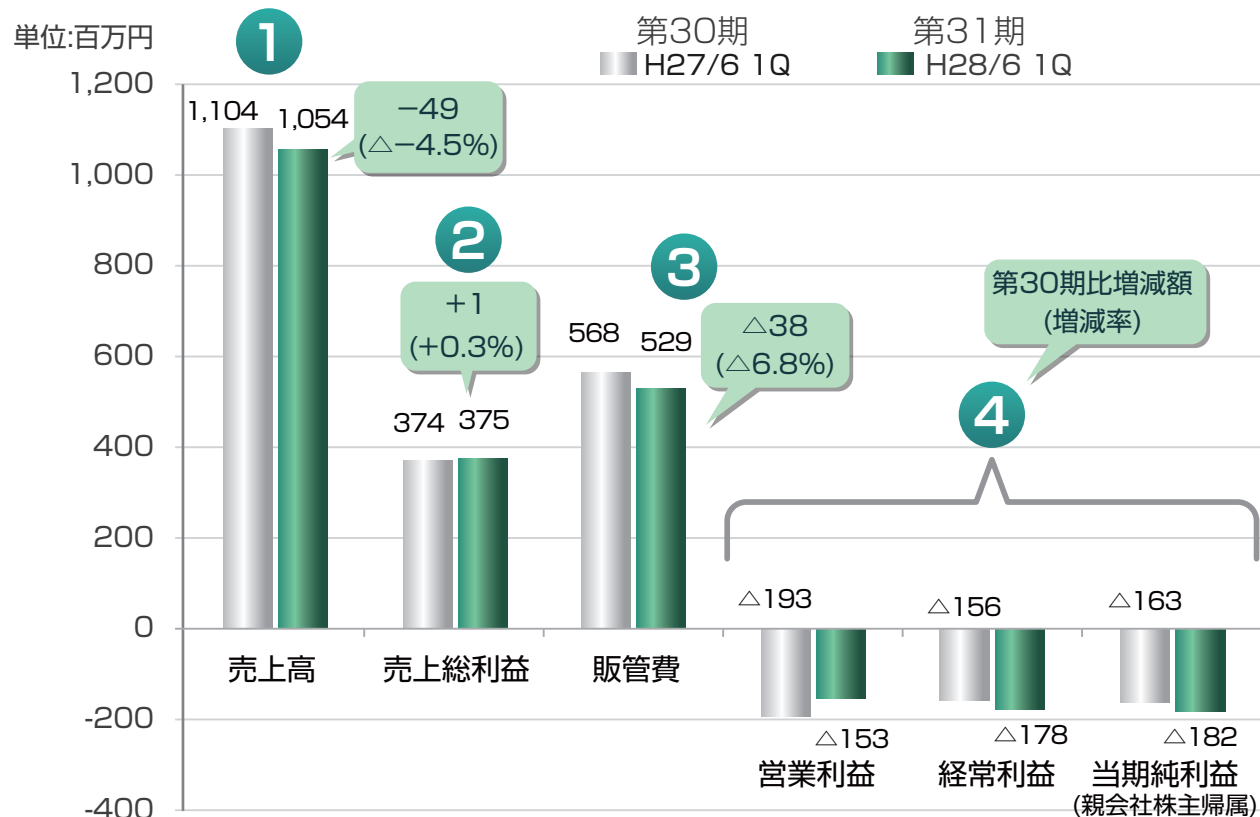
■ 今後3年間で、Abbott、ELITech向けを中心に、試薬・消耗品類を大きく伸ばす所存であります。



2. 業績動向

第31期(H28/6)1Q業績①

■ 当第1四半期連結累計期間は、当初の業績予想の範囲内で売上高、利益ともに推移いたしました。
今後の見通しも大きな変更はないため、業績見通しに特段の変更はありません。



第30期 (H27/6) 1Q 業績比

1

▶ 売上高の減収

主として装置の出荷状況についてOEM顧客別に好調不調があり、装置としては前年同期比減収となったことによるものです。

2

▶ 売上総利益の増加

主として前年同期と比べて円安ドル高が進行した事によるものです。

3

▶ 販管費は前期比削減

主として研究開発費156百万円 (前年同期240百万円比34.6%減)の削減効果によるものです。

4

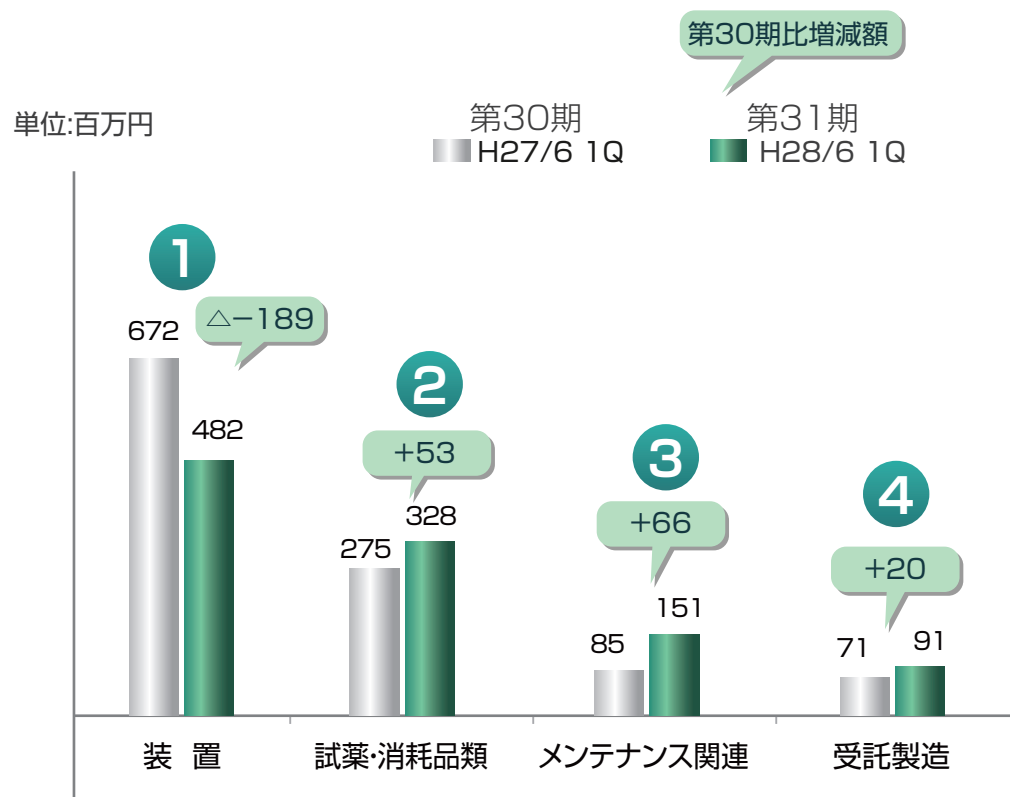
▶ 当四半期 (親会社株主帰属) は純損失を計上

為替差損14百万円が発生しました。

2. 業績動向

第31期(H28/6)1Q業績②

■ 当第1四半期連結累計期間の装置売上は前期比減少しましたが、第2四半期以降の売上拡大が期待されています。



第30期 (H27/6) 1Q 業績比

1 装置

▶ 売上高 対前期比売上高 28.2% 減

①ラボ(研究室)自動化装置
294百万円(前年同期比32.6%減)
OEM取引先の事情による一時的な減少

②臨床診断装置
187百万円(前年同期比20.1%減)
前年同期はAbbott社向け開発売上を大きく計上

2 試薬・消耗品類

▶ 売上高 対前期比売上高 19.3% 増

大館試薬センターが本格稼働をして、Abbott、ELITech向けのDNA抽出試薬の製造を行っています。

3 メンテナンス関連

▶ 売上高 対前期比売上高 78.6% 増

Abbottにおいて、本格的な製品出荷に備え、初期スペアパーツ確保の大量受注がありました。

4 受託製造

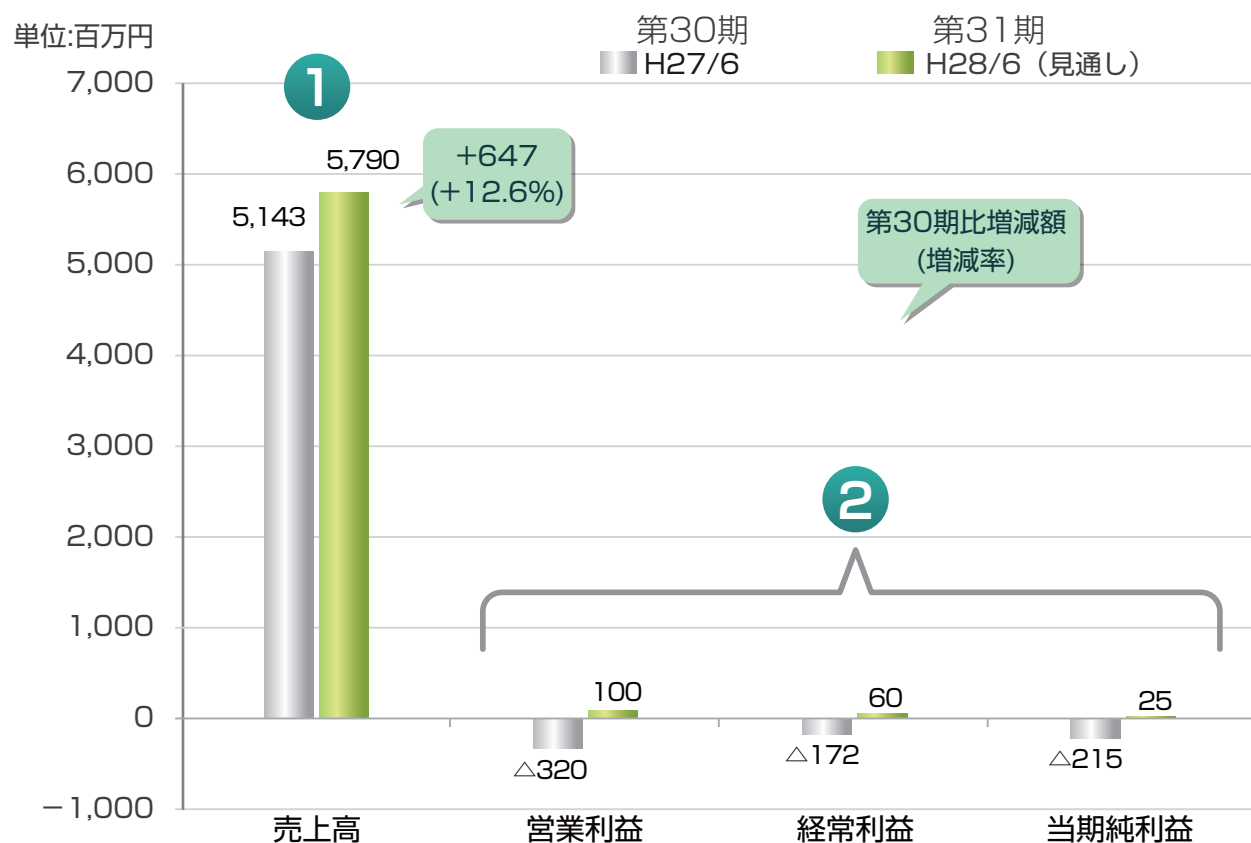
▶ 売上高 対前期比売上高 28.0% 増

製造子会社エヌピーエス(株)が実施している当社以外の外部からの受託製造事業です。

2. 業績動向

第31期見通し

- 第30期比増収増益の見込みです。
- 販管費は第30期比減少により、業績の黒字化を見込んでいます。
- なお、為替の見通しは、1ドル=120円、1ユーロ=130円にて算定しております。



第30期 (H27/6) 業績比

1 売上拡大

- ①ELITechグループとの提携によるgeneLEADの販売展開(DNA抽出試薬含む)
- ②Abbottグループ向けの装置・プラスチック消耗品に加えて本格的に試薬の出荷が開始される見通しです。

2 販管費削減と事業損益の黒字化

販管費は第30期比減少の見込みで、営業利益100百万円の計上となる見通しです。

2 利益配分に関する基本方針及び配当について

第31期に関しましては、当社の配当方針に沿って対応する方針ですが、現在の業績予想では当期純利益が25百万円と少額予想のため、無配当の予定にしております。

3. トピックス

「東京証券取引所における上場市場変更承認に関するお知らせ」

(平成27年8月28日)

東京証券取引所マザーズは、成長企業向けの市場であり、当社が上記の成長戦略を推進し事業を拡大していくに当って最もふさわしい市場と考えております。

プレスリリース「新株式発行及び株式売出しに関するお知らせ」

(平成27年8月28日)

今回の新株式発行による資金調達は、今後の試薬・消耗品事業の拡大に向けた設備投資資金及び事業拡大に伴う増加運転資金に充当する予定です。

これにより、中期事業計画を達成し、一層の企業価値向上を実現することで、株主をはじめとするステークホルダーの皆様の利益最大化に努めてまいります。

3. トピックス

「PSS核酸抽出試薬「MagDEA Dx SV」のCEマーキング取得について」

(平成27年10月22日)



本製品は PSS では初めて EU Directive 98/79/EC (IVD Directive) に則り設計開発された、体外診断用の核酸抽出試薬であり、PSS で開発した全自動遺伝子検査装置「geneLEAD XII plus」、開発中である全自動核酸抽出装置「magLEAD 6gC」、「magLEAD 12gC」と

組み合わせて使用することで、血液、血清、血漿、尿、CSF(脳脊髄液)、スワブ(綿棒で集めた細菌検査用の分泌物)などの臨床検体より、短時間(30分以内)で高品質な核酸を全自動で得ることを可能にします。

本抽出試薬は、従来の PSS 抽出試薬で対応できなかった多種類の検体を取り扱えるだけでなく、短時間の抽出処理を可能にした事により、汎用性が高い PSS の遺伝子診断自動化装置群に適した専用試薬となっています。

3. トピックス

■ 大館試薬センター拡張工事について

当初ELITech社向け及び自社販売のDNA抽出試薬の製造工場として設計されました。その後Abbott社からも試薬製造の依頼を受け、当初計画を大きく上回る受注状況となっています。

3年後を見据えて、現状の製造能力では長期フォーキャストの達成は困難な状況のため、拡張工事に着手する予定であります。



完成イメージ

大館試薬センター



本日は、PSSの会社事業内容の説明の機会を頂きまして、誠にありがとうございます。
今後とも、ご理解、ご支援を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

なお、本資料には、当社の計画と見通しを反映した将来予測に関する記述を含んでおります。これらは、本資料作成時において、入手可能な情報に基づいた予想値であり、潜在的なリスクや不確実性が存在しています。そのため、本資料に記載されている将来見通しが、実際の業績と大きく異なる場合があることを、ご承知おきいただきますよう、お願い申し上げます。

平成27年12月7日
プレシジョン・システム・サイエンス株式会社
URL: www.pss.co.jp

(お問い合わせは、IR・社長室まで)
電話: 047-303-4800
メール: ir@pss.co.jp

